

令和5年度(令和4年度実施事業分)主要事業評価シート					No.	23-6																																							
PDCA	主要事業名	道路舗装事業 (維持修繕・改修)		部課名	建設部土木課	担当	加古																																						
						内線	434																																						
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 4 - 3 - 1 単位施策： 道路 全体事業期間： 令和 4 年度 ～ 4 年度 全体事業費等： 201,673 千円 会計 一般会計 歳出科目： 07.02.04.02.50						目標項目（予算計上時に作成） 予算見積書で活用																																						
	事業概要等		事業概要： 市内一円の道路舗装について適正な維持管理を行い、道路利用者の安全を確保する。 事業目的： 市内一円の舗装修繕・新設 事業内容： 市内一円の道路舗装維持修繕工事 問題点・課題 路面の点検に基づき修繕計画の見直しを行い、緊急性、必要性の高いものから予防的課題等： な観点により、計画的に修繕を行う。																																										
	予算額		主要事業とする理由																																										
	201,673 千円		道路舗装の劣化・損傷による道路瑕疵を防ぎ、快適で安全な道路を維持するために修繕や改修を行う必要がある。																																										
	財源内訳		得られる成果																																										
	市費 173,890 千円		快適で安全な道路の通行が確保できる。																																										
	国費 27,783 千円		<table border="1"> <thead> <tr> <th>目標値や目指すべき状態</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">舗装修繕・改修路線数</td> <td>実績値</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>—</td> <td>路線</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>7</td> <td>5</td> <td>9</td> <td>路線</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">その他</td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					目標値や目指すべき状態	令和2年度	令和3年度	令和4年度	単位	舗装修繕・改修路線数	実績値	7	8	—	路線	目標値	7	5	9	路線		実績値					目標値					その他	実績値					目標値				
	目標値や目指すべき状態	令和2年度	令和3年度	令和4年度	単位																																								
	舗装修繕・改修路線数	実績値	7	8	—	路線																																							
		目標値	7	5	9	路線																																							
	実績値																																												
	目標値																																												
その他	実績値																																												
	目標値																																												
県費 0 千円																																													
その他 0 千円																																													
D 実績値	決算額		得られた成果																																										
	201,652 千円		市内一円の道路舗装について、適正な維持管理を行うことで、良好な道路環境の創出と安全確保を図ることができた。																																										
	財源内訳		<table border="1"> <thead> <tr> <th>成果指標</th> <th></th> <th>令和4年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">舗装修繕・改修路線数</td> <td>実績値</td> <td>9</td> <td>路線</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>9</td> <td>路線</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				成果指標		令和4年度	単位	舗装修繕・改修路線数	実績値	9	路線	目標値	9	路線																												
	成果指標		令和4年度	単位																																									
舗装修繕・改修路線数	実績値	9	路線																																										
	目標値	9	路線																																										
C 課題の整理	事業の評価・課題		<table border="1"> <tr> <td colspan="5" style="text-align: center;">B</td> </tr> <tr> <td colspan="5">計画に基づく舗装修繕工事6路線と舗装新設要望3路線のほか、住民通報等により確認した通行に支障となる箇所の修繕工事を行い、道路通行の安全性を維持することができた。また、舗装の劣化状況については、通行量などの利用状況により、進行度合が異なるため、定期的な修繕路線の見直しが必要となる。</td> </tr> </table>				B					計画に基づく舗装修繕工事6路線と舗装新設要望3路線のほか、住民通報等により確認した通行に支障となる箇所の修繕工事を行い、道路通行の安全性を維持することができた。また、舗装の劣化状況については、通行量などの利用状況により、進行度合が異なるため、定期的な修繕路線の見直しが必要となる。																																	
	B																																												
計画に基づく舗装修繕工事6路線と舗装新設要望3路線のほか、住民通報等により確認した通行に支障となる箇所の修繕工事を行い、道路通行の安全性を維持することができた。また、舗装の劣化状況については、通行量などの利用状況により、進行度合が異なるため、定期的な修繕路線の見直しが必要となる。																																													
A 課題の解決方向性	今後の事業の方向性		<table border="1"> <tr> <td colspan="5" style="text-align: center;">改善推進</td> </tr> <tr> <td colspan="5">過年度に実施した路面状況調査や道路パトロール等で把握した劣化状況を反映させた修繕計画の定期的な見直しを図るとともに、予防保全の観点から緊急性や必要性を踏まえ計画的に修繕・改修工事を進めていく。</td> </tr> </table>				改善推進					過年度に実施した路面状況調査や道路パトロール等で把握した劣化状況を反映させた修繕計画の定期的な見直しを図るとともに、予防保全の観点から緊急性や必要性を踏まえ計画的に修繕・改修工事を進めていく。																																	
	改善推進																																												
	過年度に実施した路面状況調査や道路パトロール等で把握した劣化状況を反映させた修繕計画の定期的な見直しを図るとともに、予防保全の観点から緊急性や必要性を踏まえ計画的に修繕・改修工事を進めていく。																																												
観点別評価		<table border="1"> <thead> <tr> <th>必要性</th> <th>有効性</th> <th colspan="2">効率性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①市の関与の妥当性 妥当</td> <td>④上位施策への貢献 大きい</td> <td>⑦コスト削減 余地</td> <td>ある</td> </tr> <tr> <td>②市民ニーズ 高い</td> <td>⑤成果向上の余地 ある</td> <td colspan="2">※手段の変更</td> </tr> <tr> <td>③休廃止の影響 大きい</td> <td>⑥類似事業の有無 ない</td> <td>⑧受益者負担適正化余地</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>				必要性	有効性	効率性		①市の関与の妥当性 妥当	④上位施策への貢献 大きい	⑦コスト削減 余地	ある	②市民ニーズ 高い	⑤成果向上の余地 ある	※手段の変更		③休廃止の影響 大きい	⑥類似事業の有無 ない	⑧受益者負担適正化余地	—																								
必要性	有効性	効率性																																											
①市の関与の妥当性 妥当	④上位施策への貢献 大きい	⑦コスト削減 余地	ある																																										
②市民ニーズ 高い	⑤成果向上の余地 ある	※手段の変更																																											
③休廃止の影響 大きい	⑥類似事業の有無 ない	⑧受益者負担適正化余地	—																																										
		主要施策の成果報告書で活用																																											
		評価項目（決算時に作成）																																											